

# 審 査 講 評

## 1. 審査概要

審査は「平成26年度熊本県堆肥共励会実施要領」に基づき実施しました。本年は協議会の運営規模の関係で全体を150点規模として募集を行ったところ、116点の出品がありました。

また、畜種別3部門、作物部門、新人部門に分けて表彰し、総合的に最も評価が高いものを大賞として表彰できるよう厳密に審査を行いました。

### (1) 出品堆肥のサンプル収集及び成分分析

各地域振興局の農業普及・振興課を通じて出品堆肥の採取を行い、JA鹿本農業技術開発センター、JA菊池土壌分析室、県農業研究センター畜産研究所において成分分析を実施しました。

### (2) 書類、現物審査

参加申込書に記載された堆肥生産情報と成分分析結果を基にして書類審査を実施するとともに「堆肥品質判定基準（熊本県、17年度一部改訂）」に基づき、腐熟度及び品質の判定を実施しました。

### (3) 現地審査

書類審査と現物審査の結果から入賞となった出品堆肥について、実際の堆肥の生産状況、施設の運営状況や環境保全への取り組み状況を現地で確認しました。

### (4) 特別審査員による評価

利用する側の視点から堆肥の品質評価を行うため堆肥の利用に直接関わる農家、JA営農指導員等を特別審査員として選定し、品質、形状や腐熟度から審査を行いました。

### (5) 総合評価

書類、現物審査、成分分析結果、現地審査の結果を総合的に判断して上位入賞堆肥を決定しました。

## 2. 審査結果

以上の審査結果から各部門の入賞者を以下のように決定しました。

#### ・ 畜種部門

乳牛	阿蘇市堆肥化センター（阿蘇）
肉牛	松本牧場（上益城）
	にしはらオーガニックセンター（阿蘇）
中小家畜	網田牧場（芦北）

#### ・ 作物部門

山鹿市バイオマスセンター（鹿本）

該当なし

該当なし

各部門の受賞者について聞き取りおよび必要に応じ現地調査を行い、総合的に検討し、熊本県賞の受賞者を以下のとおり決定しました。

・ 熊本県賞 網田牧場（芦北）

### 3. 講評

堆肥共励会は今年度18年目に入り、いずれの部門においても、畜産農家や堆肥生産者の品質向上に対する意識はとて高く感じられました。

熊本県良質堆肥利用促進協議会では、出品堆肥について独自の熟度判定を行っていますが、完熟（総合点76点以上）と認定されたものは全体の77%で、平成23年度から4年連続70%以上と高い割合を維持しております。また、未熟（総合点50点以下）と認定されたものはありませんでした。

畜種別にみると、畜種混合85%、乳用牛83%、肉用牛80%の順に高く、豚54%、鶏では完熟堆肥はありませんでした。

新たな出品（新人部門）12カ所と既出品104カ所の完熟割合の比較では、新たな出品58%、既出品は79%で、より21ポイント低くなりました。

総合点の平均を畜種別に見ると、乳用牛が82点で最も高く、次いで肉用牛および畜種混合が81点、豚76点、鶏63点の順でした。

今年度審査を行った中で全体的な傾向、特徴としては次のことがあげられます。

- ・ 適正な水分で、外観・品質の高い堆肥が大部分を占めており、水分調整、通気・切り返し等の基本的な技術が適正に行われていること
- ・ 完熟率が77%と過去最高成績を更新するとともに、未熟堆肥が無くなり、全体平均点が80点を超えるなど全体的な品質の向上が認められること。
- ・ 中小家畜部門の出品数は16件で、総合点が前年度より向上していること。

そのなかで、上位入賞された堆肥化施設では、発酵処理期間中の水分管理や通気・切り返し作業など「基本に忠実」な腐熟化が実施されており、発酵条件が良好な状態に保たれていることが高品質堆肥の生産に寄与しているのではないかと思われました。

家畜排せつ物法が完全施行されて10年が経過しました。家畜排せつ物法においては、家畜排せつ物はコンクリート等汚水が浸透しない施設において管理することとされています。施設等の老朽化が進むなかですが、今後も施設点検等を徹底し、管理基準を順守した堆肥化を行っていただくようお願いいたします。

家畜ふん由来の堆肥は、土づくり資材として、あるいは肥料として利用でき、コストの低減につながる重要な地域資源としてさらに期待が高まっています。

堆肥の広域流通量（平成25年度県農林水産部調べ）は69,100トンで、耕種サイドでの利用は今後も継続されるものと思われます。

本共励会の結果をそれぞれの施設及び地域で活用し堆肥処理技術の改善や工夫を図ることで、家畜ふん尿の適切な処理及び利用及び耕種地帯と畜産地帯の連携が促進され、自然環境にやさしい「くまもとグリーン農業」に貢献することを祈念しまして、講評といたします。

#### 4. 出品堆肥の品質の概要

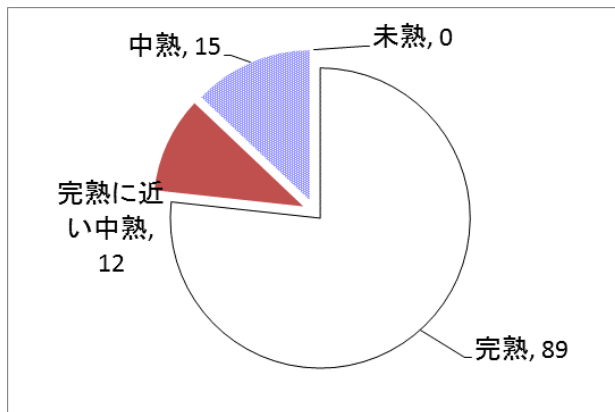
##### (1) コンクールへの出品数の推移

年度	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
出品数	47	50	50	58	64	99	90	130	149
年度	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
出品数	126	152	152	126	80	94	116	132	116

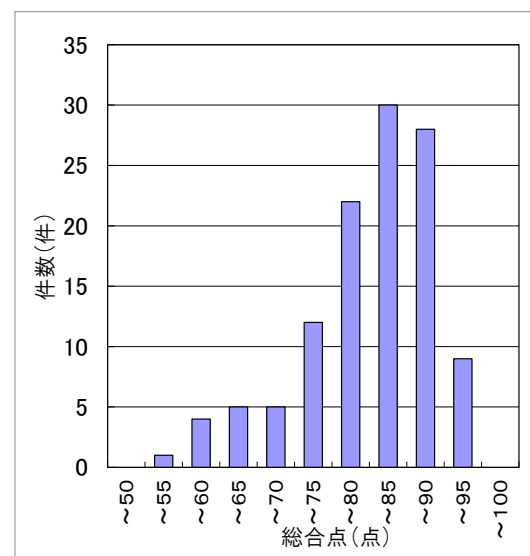
##### (2) 部門別出品点数(26年度)

畜種	乳用牛	肉用牛	中小	新人	耕畜連携
出品数	52	57	23	11	31

##### (3) 腐熟度別判定結果の割合



出品堆肥の熟度別出品数(件)



総合点の度数分布(件)

##### (4) 腐熟度判定基準値の畜種別出品数および平均得点

(単位:点)

畜種 \ 項目	出品件数	書類審査計 数料種類 堆積期間 切回数等	現物審査計	分析値計			発芽試験	総合点	うち 新人				
				色相	形状	臭気							
乳用牛	30	12	31	11	6	13	30	9	13	9	10	82	77
肉用牛	44	12	30	10	7	13	30	9	13	9	9	81	79
豚	13	11	32	13	9	10	24	6	10	8	9	76	64
鶏	3	10	28	12	9	7	16	4	6	6	9	63	-
畜種混合	26	12	32	12	7	13	28	8	13	8	10	81	85
総計・平均	116	12	31	11	7	12	29	8	12	8	9	80	76

### (5) 堆きゅう肥の化学分析結果（現物当たり%）

#### ① 全体の結果（分析点数：116）

	水分	pH	EC (1:20)	窒素	りん酸	加里	石灰	苦土	塩素	炭素率
平均値	48.1	8.6	4.3	1.2	1.7	1.6	1.9	0.7	0.6	15.8
最小値	14.1	5.4	0.1	0.4	0.3	0.4	0.4	0.2	0.0	6.3
最大値	69.0	10.5	30.6	3.1	7.9	3.6	13.7	2.4	1.8	30.4
標準偏差	13.8	1.1	2.8	0.6	1.5	0.8	2.1	0.5	0.3	4.4

#### ② 畜種別の結果

	水分	pH	EC (1:20)	窒素	りん酸	加里	石灰	苦土	塩素	炭素率
乳牛(n=30)	54.8	9.0	4.2	0.9	1.0	1.4	1.5	0.6	0.6	13.2
肉牛(n=44)	50.5	8.1	4.1	1.0	1.3	1.5	1.0	0.5	0.6	16.0
豚(n=13)	35.6	9.0	6.1	2.0	4.5	1.9	3.7	1.6	0.7	19.3
鶏(n=3)	25.6	9.2	4.8	2.7	4.9	2.8	9.2	1.3	0.9	16.8
畜種混合(n=26)	45.1	8.8	3.7	1.2	1.6	1.6	2.0	0.7	0.6	16.7

### (6) 腐熟度別判定結果の割合（%）

年度	未熟	中熟	完熟
26	0	23	77
25	2	26	73
24	2	28	71
23	4	26	70
22	0	44	56
21	1	26	74
20	1	39	60
19	1	40	59
18	0	43	57
17	3	45	52
16	3	50	47
15	7	72	21
14	3	57	40
13	5	75	20
12	2	77	21
11	16	56	28
10	14	66	20
9	23	64	13

